

10月21日
記者発表会

ロボカップアジアパシフィック 2021あいち 開催概要について



ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会

■ 目次

■ 今大会の特徴・見どころ	P2
■ ロボカップアジアパシフィックとは	P3
■ 開催概要	P4
■ スケジュール	P5
■ 競技概要	P6
■ 競技種目・申込チーム数	P7
■ 会場計画 ①	P8
■ 会場計画 ②	P9
■ 式典	P10
■ サイドイベント概要	P11
■ サイドイベント「ロボットエキスポ」「ロボットパーク」	P12
■ サイドイベント「ロボットのがっこう」	P13
■ サイドイベント「ロボットステージ」	P14
■ サイドイベント（その他）	P15
■ シンポジウム	P16
■ 大会運営・報道対応	P17
■ 新型コロナ感染症対策	P18
■ 取材案内（PRキャラバン、フライングロボットの競技テスト）	P19
■ 問合せ先等	P20

■ 今大会の特徴・見どころ

- **ポイント① 自律型ロボットによる国際大会「ロボカップ」。**アジアパシフィック大会の日本での開催は初めてです。

「オンサイト競技」と「バーチャル競技」の併用によりコロナ禍でも多くの国内外選手が参加します。

- ▶ ロボカップで主に行われる5つの自律型ロボットによる競技に加え、屋内ドローン競技「フライングロボットチャレンジ」を初めて開催。
- ▶ 会場で実施する「オンサイト競技」に加え、インターネットを介して行う「バーチャル競技」を実施することにより、海外選手も多数参加。
- ▶ ライブストリーミングサイトにより、自宅からも競技観戦可能。

- **ポイント② テーマは「Next Door with Robots ～ロボットと共に、その先へ～」。**

ロボットの活用シーンに応じた3つのゾーンにて、ロボットにより豊かになる社会を体感いただきます。

- ▶ ロボットの歴史を「Robotic History」ゾーンで学ぶ。
「Smart Life」「Smart Mobility」「Smart Factory」の3ゾーンで未来を体感。
- ▶ キッズエリア「ロボットパーク」では、コミュニケーションロボットと触れ合いができる。
- ▶ ステージイベントは予約不要。競技中継のほか、スタジオジブリによる講演や、地元タレントによるロボカップ応援ステージなどを実施。

- **ポイント③ 約5,000人が無料体験できるワークショップ「ロボットのがっこう」。**

プログラミングやロボット操作の体験を通じて、ロボット・AIへの関心を育てます。

- ▶ 子ども向けのプログラミング体験やロボット操作体験が充実。ロボカップ競技の体験も。
- ▶ ビジネスに役立つAI実践講座や、保護者向けプログラミング教室など、大人向けセミナーも実施。

■ ロボカップアジアパシフィックとは

■ ロボカップ (RoboCup) とは

- ▶ ロボット工学と人工知能が融合する自律型ロボットの研究及び教育の深化を目的とした学生等によるロボット競技大会。
- ▶ 「西暦2050年までに、サッカーの世界チャンピオンチームに勝てる自律移動のヒューマノイドロボットのチームを作る」ことを目標としている。
- ▶ 1997年に第1回世界大会が名古屋で開催されてから、毎年世界各地で開催され、現在では競技参加者は40か国以上に広がっている。
- ▶ ロボカップの各大会では、主に以下5つの競技と、シンポジウムが開催される。



RoboCup Soccer

ロボカップで最初に行われた自律移動ロボットを使ったサッカー競技



RoboCup Rescue

災害現場を想定した救助ロボットの競技



RoboCup @Home

キッチンやリビングでのロボットの利用を想定し、人に指示されたタスクを競う競技



RoboCup Industrial

移動可能な産業用ロボットによる物流や倉庫管理システムを題材とした競技



RoboCup Junior

19歳以下の子供たちが参加するサッカーやレスキュー、オンステージなどの競技

■ ロボカップアジアパシフィック (RoboCup Asia-Pacific 略称: RCAP)

- ▶ ロボカップ競技者の裾野を広げることを目的に、アジア太平洋地域で開催し、10か国以上の競技者が参加する大会。
- ▶ 2017年にタイ・バンコクにて第1回大会が開催され、日本での開催は、2021年の愛知大会が初。
(当初、2020年10月の開催を予定していたが、新型コロナ感染拡大のため、1年延期し開催。)
- ▶ アジアパシフィック地域における国際組織「ロボカップアジアパシフィック委員会」(本部: シンガポール) が、地元の開催委員会と共同で開催する。
- ▶ 過去の開催地は以下のとおり。
2017年12月: タイ バンコク 2018年12月: イラン キーシュ島 2019年11月: ロシア モスクワ
- ▶ アジアパシフィック独自の競技種目「RCAPチャレンジ」。今大会では、フライングロボット (いわゆるドローン) 競技を新種目として実施。

■ 開催概要

■ 会期

2021年11月25日(木)～29日(月)

■ 会場

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) ※29日は、ナディアパーク デザインホールにてシンポジウムを開催

■ 主催等

- ▶ 主催 ロボカップアジアパシフィック委員会、ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会
- ▶ 共催 中日新聞社
- ▶ 後援 文部科学省、経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

■ テーマ

Next Door with Robots ～ロボットと共に、その先へ～

■ 内容

- ▶ 競技…自律型ロボットによる競技（オンサイト競技 15種目、バーチャル競技 10種目）
- ▶ シンポジウム…ロボット・AIに関する基調講演（2件）及び研究発表（8件）
- ▶ サイドイベント…① ロボット展示・体験（約70種）、② ワークショップ（約30教室）、③ 講演会・セミナー（7件） など

■ 入場料

無料

◆ 開催方式（以下は現時点の想定であり、今後、国や県から新たな指針等が示されれば再度検討する）

- ▶ 競技はコロナ禍に対応した方式として、従来のとおり会場の実機を使用して実施する「**オンサイト競技**」に加え、会場の実機を使用せず遠隔地からインターネットを介して参加する「**バーチャル競技**」の両方を実施。
- ▶ **Aichi Sky Expoでは、オンサイト競技やサイドイベント、式典を実施。**また、その模様をインターネットで配信。
- ▶ 同会場では、適切に感染症対策を施し、**観客を入れて開催する。**ただし、観客は**各競技フィールド周辺に設置する席から観戦**してもらい、基本、フィールド周辺に立って見ていただくことがないようにする。
- ▶ **バーチャル競技はロボカップアジアパシフィック委員会**が主となって運営する。

■ スケジュール

2021年11月		21	22	23	24	25	26	27	28	29
		日	月	火	水	木	金	土	日	月
Aichi Sky Expo 設営・撤収		設営	設営	設営	設営				撤収	
開会式						9:30～ 10:00				
オンサイト 競技	メジャーリーグ			選手準備	選手準備	10:00～ 14:00	10:00～ 14:00	10:00～ 14:00	10:00～ 13:00	
	ジュニアリーグ					選手準備	10:00～ 14:00	10:00～ 14:00	10:00～ 13:00	
	表彰式								15:00～ 16:30	
バーチャル 競技※	メジャーリーグ					14:00～ 20:00	14:00～ 20:00	14:00～ 17:00		
	ジュニアリーグ					14:00～ 20:00	14:00～ 20:00	14:00～ 17:00		
	表彰式							18:00～ 19:00		
閉会式									16:30～ 17:00	
シンポジウム										10:00～ 17:00
ロボット展示・体験、ワーク ショップ、講演会など						10:00～ 17:00	10:00～ 17:00	10:00～ 17:00	10:00～ 17:00	

※ バーチャル競技の日程や方法等については、ロボカップアジアパシフィック委員会にて検討中であり、今後変更する可能性がある。

入退場時間	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局・スタッフ…7:00入場可、23:30頃完全退場(消灯) ・競技参加者・出展者…8:00入場可、22:00完全退場 ・一般来場者…10:00開場、17時退場
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

競技概要



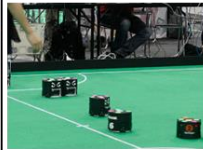


競技種目		オンサイト競技	バーチャル競技 (RCAP委員会にて調整中)
		15種 会場に選手（国内選手のみ）が集い、実機等を使用して実施する競技。インターネットを介して海外チームが参戦する競技（以下下線競技）も実施。	10種 国内外の選手が遠隔からインターネットを介して参加する競技（会場の実機を使用しない）。
メジャーリーグ	サッカー	2種（車輪小型、 <u>シミュレーション</u> ）※ヒト型のデモを実施	1種（車輪中型）
	レスキュー	2種（実機、 <u>シミュレーション</u> ）	—
	@ホーム	4種（実機、簡易実機、 <u>シミュレーション</u> 2種）	—
	インダストリアル	1種（ <u>搬送型</u> ）	1種（移動型産業用ロボット）
ジュニアリーグ	サッカー	2種（標準型、軽量型）	2種（標準型、軽量型）
	レスキュー	2種（メイズ、ライン）	3種（メイズ、ライン、 <u>シミュレーション</u> ）
	ステージ	1種	1種
RCAPチャレンジ	フライングロボット	1種（実機）	—
	コススペース	— ※レスキューのデモを実施	2種（自動走行、レスキュー）








【参考】 競技参加チームの申込結果に基づく想定参加チーム数









総数：320チーム（ロシア、イラン、インドネシアはじめ23か国・地域）うち会場に参加するチーム数：88チーム（400人程度）
 注）RCAP2021あいち開催委員会及びRCAP委員会への申込結果を合算。なお、今後チームが本登録するにあたり変動する可能性あり。

	オンサイト競技			バーチャル競技	
	会場参加 (国内チーム)	遠隔参加		国内チーム	海外チーム
		国内チーム	海外チーム		
メジャーリーグ	28	8	18	2	5
ジュニアリーグ	57	-	-	6	76
RCAPチャレンジ	3	1	2	4	110
計	88	9	20	12	191

競技種目・申込チーム数

競技種目	サッカー					レスキュー	
	ヒューマノイド(Kid)	スタンダードプラットフォーム	ミドルサイズ	スモールサイズ	シミュレーション(2D)	ロボット	シミュレーション
							
オンサイト競技	デモンストレーション	実施しない	実施しない	6チーム	7チーム (うち海外4チーム)	5チーム	6チーム (うち海外3チーム)
バーチャル競技	実施しない	実施しない	4チーム (うち海外2チーム)	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない

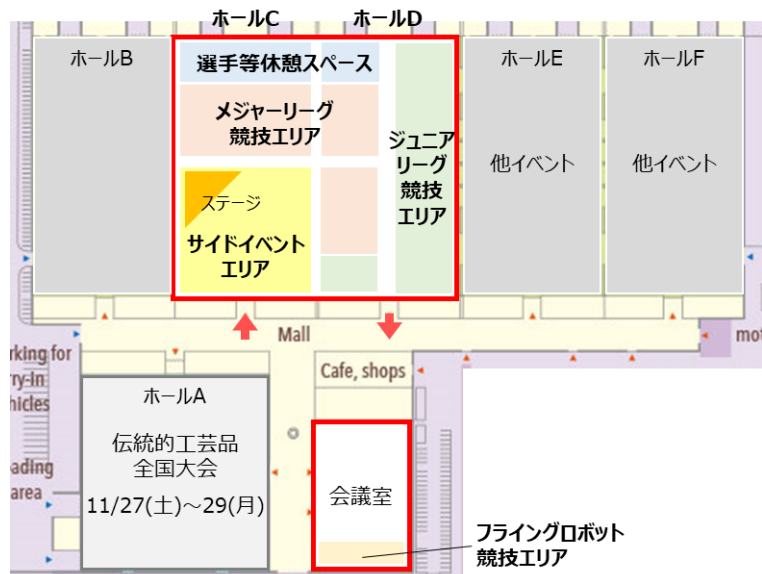
競技種目	@ホーム				インダストリアル		RCAPチャレンジ
	ロボット	エデュケーション	シミュレーション (オープンプラットフォーム)	シミュレーション (ドメスティックプラットフォーム)	ロジスティクス	@ワーク	フライングロボット
							
オンサイト競技	7チーム (うち海外1チーム)	9チーム (うち海外6チーム)	4チーム (うち海外1チーム)	5チーム (うち海外1チーム)	5チーム (うち海外2チーム)	実施しない	6チーム (うち海外2チーム)
バーチャル競技	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない	実施しない	3チーム (うち海外3チーム)	実施しない

競技種目	ジュニア						RCAPチャレンジ	
	サッカー (オープン)	サッカー (ライトウェイト)	レスキュー (メイズ)	レスキュー (ライン)	レスキュー (シミュレーション)	オンステージ	コスペース (自動走行)	コスペース (レスキュー)
								
オンサイト競技	7チーム	30チーム	3チーム	13チーム	実施しない	4チーム	実施しない	デモンストレーション
バーチャル競技	7チーム (うち海外7チーム)	17チーム (うち海外15チーム)	5チーム (うち海外4チーム)	20チーム (うち海外20チーム)	15チーム (うち海外12チーム)	18チーム (うち海外18チーム)	51チーム (うち海外51チーム)	63チーム (うち海外59チーム)

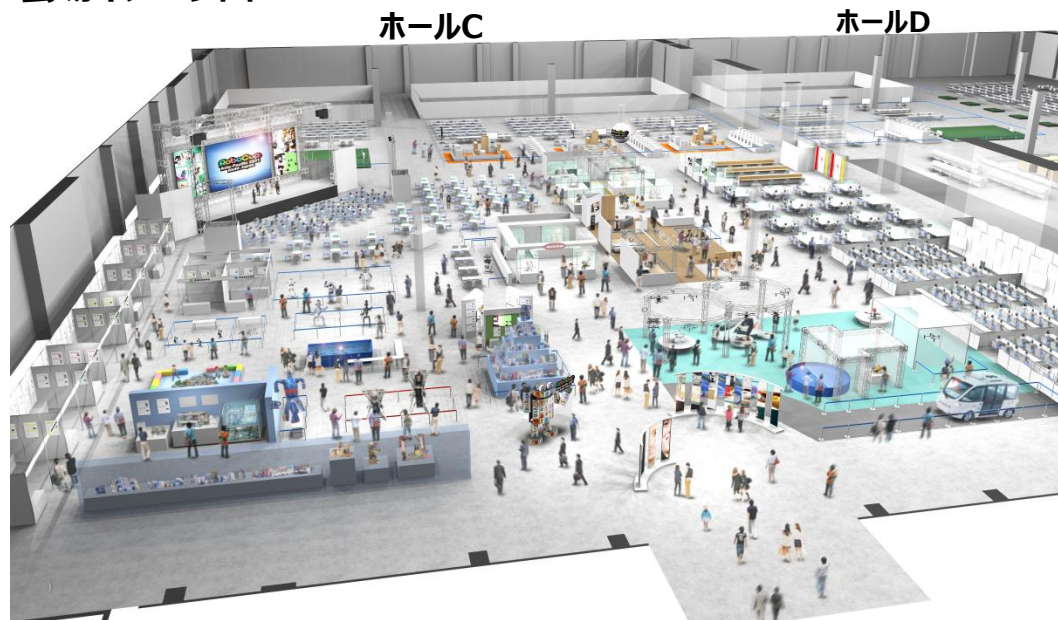
※今後チームが本登録するにあたり、競技種目やチーム数に変更する可能性あり。

会場計画 ①

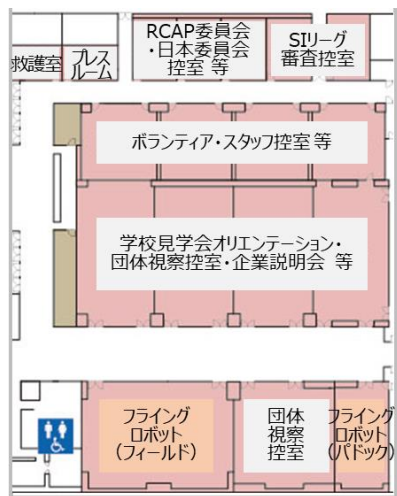
会場全体レイアウト



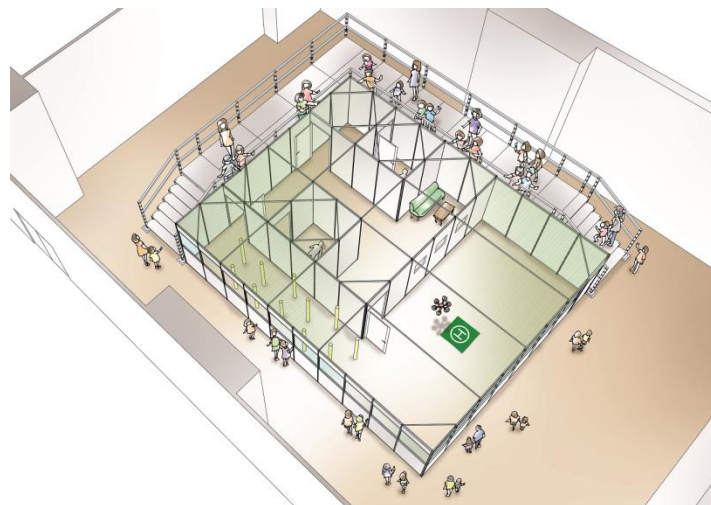
会場イメージ図



会議室使用計画



フライングロボットフィールドイメージ図



■ ホールC・D配置図



▶ **観覧席の配置**
密にならず観戦しやすいように、競技フィールド周辺にひな壇型観覧席や椅子を配置する。

▶ **会場内のWi-Fi利用**
干渉防止のため、以下のとおり対応する。
 ・各リーグごとにWi-Fiチャンネルを割り当てる。
 ・ホールC・DのフリーWi-Fiを停波。
 ・サイドイベントで使用する帯域を限定する。
 ・来場者のWi-Fi使用は禁止とする。
 (なお、新型コロナ接触確認アプリCOCOAの利用は推奨する)

▶ **競技参加者用有線LAN**
会場内に有線LANスポットを用意するなど、競技者のインターネット環境を検討。

■ 開会式 ※関係者のみ参加

- ▶ 日時：11月25日（木）9時30分～10時
- ▶ 場所：Aichi Sky Expo ホールC ステージ

9:30～9:35	オープニング	ステージの大型モニタ映像とロボット等で演出
9:35～9:40	主催者挨拶	RCAP2021あいち開催委員会 大村会長
9:40～9:45	主催者挨拶	RCAP委員会 チャンジウ会長
9:45～9:50	来賓挨拶	ロボカップ国際委員会 浅田創設理事
9:50～9:55	選手宣誓	メジャーリーグ・ジュニアリーグ選手
9:55～10:00	開会宣言	競技専門部会 岡田部会長

■ 表彰式・閉会式

- ▶ 日時：11月28日（日）15時～17時
- ▶ 場所：Aichi Sky Expo ホールC ステージ

15:00～16:30	表彰式	主催者挨拶、各種表彰
16:30～17:00	閉会式	主催者挨拶、引継セレモニー



ロボカップアジアパシフィック2019モスクワ 引継セレモニーの様子
（次回開催地へのフラッグの引渡し。2022は韓国・平昌が開催地）

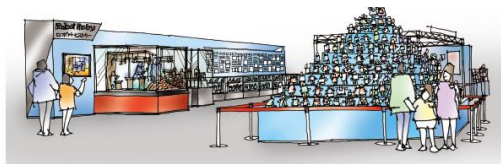
■ サイドイベント概要

■ ロボット企画展示エリア 「ロボットエキスポ」

ロボットの歴史をたどるゾーンと、ロボットの活用シーンに応じた3つのゾーンにより、ロボットにより豊かになる社会を実感

▶ 「Robotic History」ゾーン

ロボットの起源から現代までの歴史をたどる。



▶ 「Smart Life」ゾーン

人々の暮らしを支えるロボットを紹介。

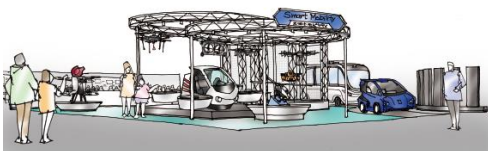


Smart Life(Café) ロボットによる調理、配膳を楽しめるカフェ



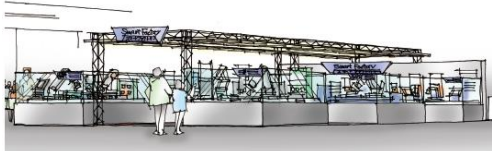
▶ 「Smart Mobility」ゾーン

未来の乗り物などを紹介。



▶ 「Smart Factory」ゾーン

モノづくりで活躍するロボットを紹介。



■ キッズエリア 「ロボットパーク」

コミュニケーションロボットとの触れ合いなどを通し、ロボットの楽しさを体感



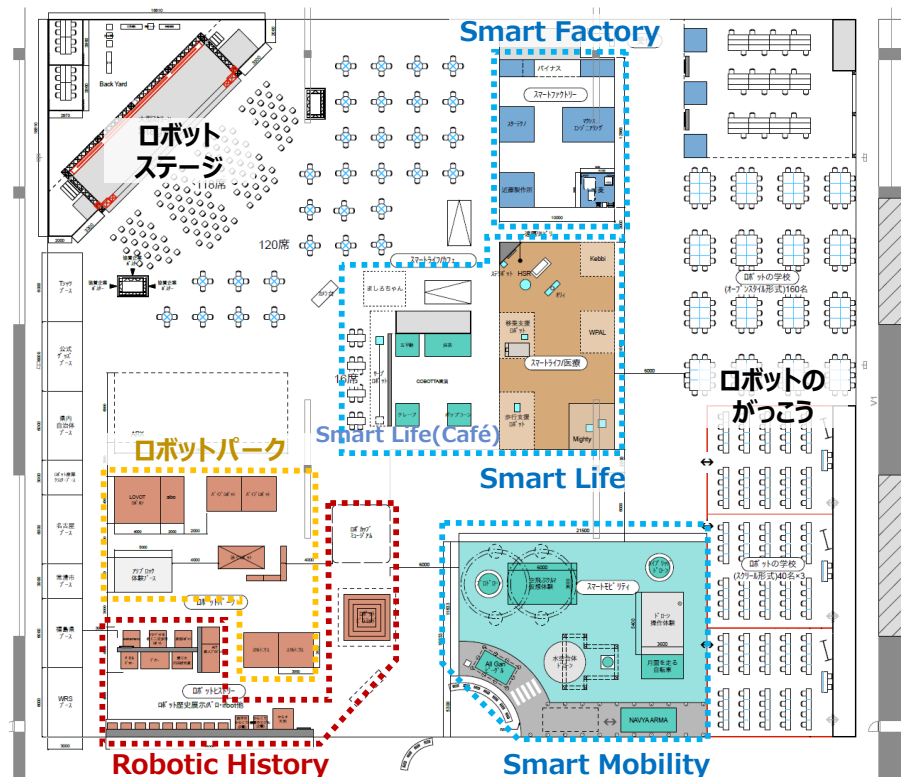
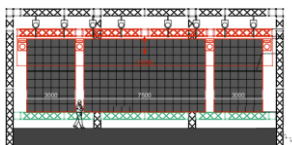
■ ワークショップエリア 「ロボットのがっこう」

子ども向けのプログラミング体験やロボット操作体験、大人向けセミナーを実施



■ ステージイベント 「ロボットステージ」

ビジネス向け講演から、大型ビジョンを活用した体験型イベントまで、幅広いコンテンツを実施



■ サイドイベント「ロボットエキスポ」「ロボットパーク」

下記は展示物の一例です

■ ロボット企画展示エリア「ロボットエキスポ」

▶ 「Robotic History」ゾーン

ロボットの起源から現代までの歴史をたどる



ロボットの歴史紹介



Photo by Ryoichi Oikawa

からくり人形



ロボット玩具コレクション

▶ 「Smart Life」ゾーン

人々の暮らしを支えるロボットを紹介



出所:株式会社オリイ研究所(権利保有先)

分身ロボット



搬送用自律移動ロボット



ロボットによる調理実演



料理配膳ロボット

▶ 「Smart Mobility」ゾーン

空飛ぶクルマや自動運転車両など、未来の乗り物などを紹介



空飛ぶクルマバーチャル体験



ドローン



自動運転車両



次世代eモビリティ

▶ 「Smart Factory」ゾーン

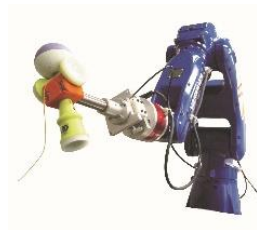
モノづくり現場でのロボットや人工知能の活用例を紹介



協働ロボット



人工知能による部品判別



けん玉ロボット

▶ 「ロボットパーク」

コミュニケーションロボットとのふれあいや、操縦体験



コミュニケーションロボットとのふれあい



水中ロボット



外骨格ロボットスーツ

■ サイドイベント「ロボットのがっこう」

下記は実施コンテンツの一例です

■ ワークショップエリア「ロボットのがっこう」

▶ 子ども向けプログラミング体験 クラス



知育ロボットをプログラミングして遊ぶ
(4歳児(年中)～小学6年生)

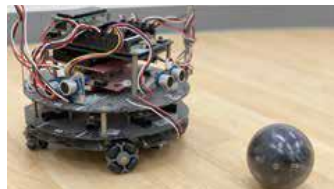


センサーを使用したコントローラーを作り、
ロボットを操縦
(小学4～6年生)



知育ブロックでヘリコプターや船を作り
プログラミングで動かす
(小学校高学年～中学生)

▶ ロボカップ体験 クラス



リモコン操作によるロボカップ
ジュニアサッカー競技の体験
(小学4年生～中学生)

▶ 産業用ロボット体験 クラス



産業用ロボットの仕組みを学び、操作を体験
(小学3年生～中学生)

▶ 親子向けロボティクス クラス



親子で考えたロボットアイデアを
大学生と小学生がチームになってプレゼン
(小学4～6年生)

▶ オンライン参加 クラス



IoTシステムを使ってキャタピラ車を動かす
オンライン講座を、Zoomを使って家庭で体験
(小学3年生～)

▶ デジタルコンテンツ クラス



自分が描いたロボットの絵を
モーションキャプチャーで自在に動かす
(幼児～)

▶ 大人向けセミナー クラス

「製品の検査をAIで自動化実践講座」

ニューラルネットワークを活用した簡易な画像認識の人工知能を作成する実践講座
(大人向け)

「親と教師のためのプログラミング」

子どもにプログラミングを教えるにあたり知っておきたいことが分かるセミナー
(保護者・教師向け)

■ サイドイベント「ロボットステージ」

下記は現在詳細調整中であり、今後変更の可能性あり

■ トップフォーラム

- ・テーマ : 「2030年に向けてイノベーションを創出する愛知」
- ・日程 : 11月25日(木) 10時10分～11時10分
- ・出演者: 愛知県知事 大村秀章 (モデレーター)
株式会社FUJI 執行役員 五十棲丈二
株式会社日刊工業新聞社 執行役員名古屋支社長 大崎弘江
藤田医科大学 最高顧問 才藤栄一
株式会社NTTドコモ 執行役員東海支社長 高木克之

■ 企業向け講演会

ロボット技術やAI等の専門家による講演会

日程	講演名	講演者
11月25日(木) 14:00～14:45	ロボット導入を容易にするティーチング自動化AIとその新たな活用方法	NECデータサイエンス研究所 小川雅嗣
11月25日(木) 15:45～17:00	ロボット×スタートアップ トークセッション	モデレーター: なごのキャンパス 企画運営プロデューサー 粟生万琴 パネリスト: ロボット・AIのスタートアップ起業家
11月26日(金) 14:00～14:45	医療・介護分野のロボット最前線	藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 主任教授 大高洋平
11月26日(金) 15:00～15:45	生産現場に価値を生むAIシステム	Musashi AI 代表取締役社長 村田宗太
11月26日(金) 16:00～16:45	RoboCupの起源と戦略、今後の展望	ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長 北野宏明

■ 競技中継

DJによる実況やロボカップ関係者による解説を交えながら競技を中継

■ 一般来場者向け講演会

子供連れのファミリー層など一般来場者向けの講演会

- ・講演名: 「スタジオジブリ作品で描かれる空想科学のロボットや機械達」
- ・日程 : 11月27日(土) 15:00～16:00
- ・講演者: スタジオジブリ 広報・学芸担当スーパーバイザー 西岡純一

■ ロボカップ応援ステージ

～SKE48とのLOVEあいちスペシャルコラボ～

ロボカップ関係者による競技解説を交えた、地元タレントによるステージイベント

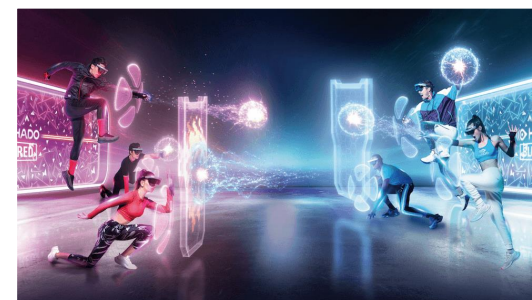
- ・日程 : 11月28日(日) 11:30～12:00、12:30～13:00
- ・出演タレント: SKE48 佐藤佳穂、井上瑠夏

■ 一般向け参加型イベント

AR技術を活用した体験型アトラクション「HADO」を実施

- ・内容: 頭にヘッドマウントディスプレイ、腕にアームセンサーを装着して楽しむARスポーツ。選手が見ているAR映像をステージのモニターに表示。

【HADO イメージ図】



■ サイドイベント（その他）

■ オンライン観戦

オンラインで競技や展示などを楽しめる特設サイトを開設し、会場に来場せずとも、RCAP2021 あいちを楽しめるサービスを提供する。

■ 小中高校向け見学会

県内小中高校の校外学習やクラブ活動の一環として見学を受け入れる。

各校の希望に応じ、競技や展示を引率・説明するガイドツアーや、ワークショップの体験などを行う。

・実施予定日：11月25日(木)～28日(日)

・参加予定校：21校・団体、約1,000名

■ 企業向け視察ツアー

商工会議所や経済団体・業界団体の協力により、各会員企業を対象に、展示・競技を案内して巡る、会場視察ツアーを実施。

■ RCAP2021協賛企業説明会

協賛企業と選手との交流を深める企業説明会

・実施予定日：11月25日(木)、26日(金)

・参加企業：5社

■ 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（高校生ロボットSIリーグ） トライアル大会 デモンストレーションイベント

RCAP2021あいちのレガシーとして来年度から開催する「高校生ロボットSIリーグ」の、
トライアル大会に参加する愛知県の工科高校3校のデモンストレーションを実施。

・参加チームによるセットアップ・実演：11月27日(土)～28日(日)

・ステージでの大会PRや参加チームによるプレゼン：11月28日(日) 13時～14時

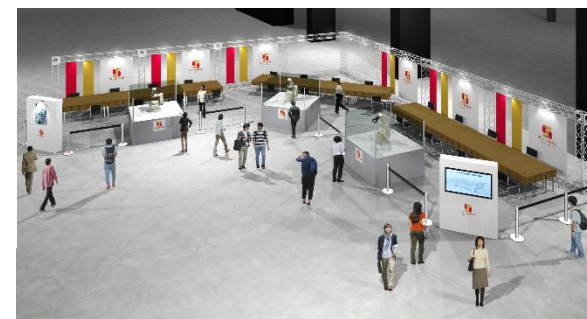
動かすのは、きみの未来だ。



（オンライン観戦サイトイメージ）



（高校生ロボットSIリーグブースイメージ）



■ シンポジウム

■ シンポジウム

- ▶ 日時：11月29日(月) 10:00～17:00
- ▶ 場所：ナディアパーク デザインホール（名古屋市）
- ▶ 共催：人工知能学会AIチャレンジ研究会
- ▶ 参加者：約200名（一般の方も聴講可能）
- ▶ 開催方法：会場開催に加え、オンライン形式でも実施
- ▶ 内容

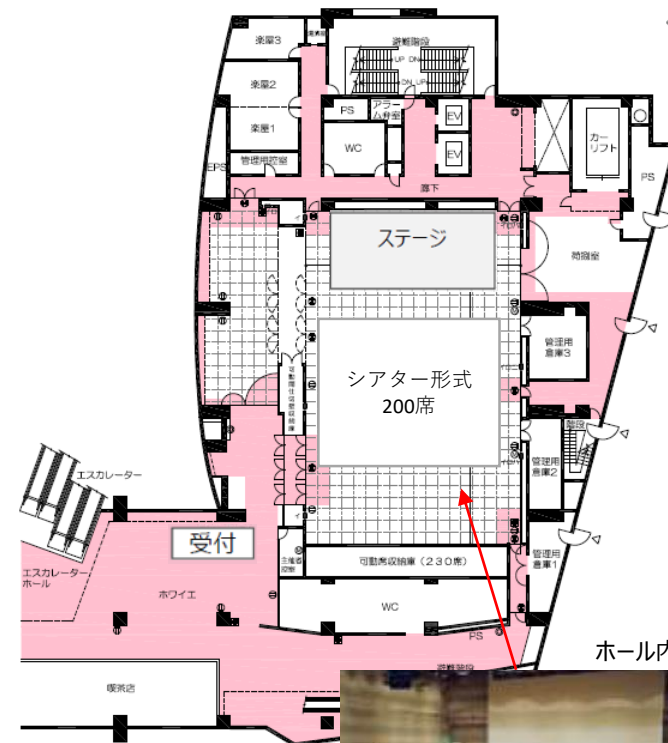
10:00～10:10	開会挨拶
10:10～11:00	基調講演① 「ロボットとムーンショットプログラム」 名城大学大学院理工学研究科 教授 福田敏男氏
11:00～12:00	研究発表（2件）
12:00～13:00	休憩
13:00～13:50	基調講演② 「ロボカップの歴史：過去・現在・未来」 東京大学次世代知能科学研究センター 教授 松原仁氏
14:00～17:00	研究発表（6件）
17:00	閉会挨拶



福田敏男教授



松原仁教授



■ 大会運営・報道対応

■ 交通輸送

- ▶ 来場者が多い土日は、名古屋駅とAichi Sky Expoの間の無料シャトルバスを運行する。（伝統的工芸品全国大会と共同運行）

■ 受付の設置

来場者受付、来賓・関係者・プレス受付：25日(木)～28日(日)

■ 来場者への会場案内

- ▶ サイドイベントエリア付近にインフォメーションを設置
- ▶ 来場者を対象としたガイドツアーを実施（土日各数回）
- ▶ セントレア～Aichi Sky Expo間の歩道に案内誘導スタッフを配置

■ 飲食サービス

Aichi Sky Expoの常設フードコートに加え、屋外にキッチンカーによる飲食エリアを設置予定。

■ 救護室の設置

セットアップ及び会期中、救護室を設置

■ 報道対応

事前に取材希望を受け、受付で対応。

また、会議室にプレスルームを設置（25日（木）～28日（日））。

▶ 取材申込：

ロボカップアジアパシフィック2021あいち公式ウェブサイトから「取材事前申込書」をダウンロードのうえご提出ください。
<https://2021.robocupap.org/press.html>

▶ 申込・問合せ先：

ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会事務局
愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課
ロボット国際大会推進室 事業グループ
電話：052-954-6374 FAX：052-954-6997
Email：robotconv@pref.aichi.lg.jp

■ 新型コロナ感染症対策

医療専門家の助言のもと、RCAP2021あいち感染症対策ガイドラインを今後作成する。

■ 現在想定する対策案

国や県、会場における感染拡大予防に係る指針やガイドライン等を踏まえ、今後必要に応じて見直しを行う。

対象者	対策項目	対策内容
競技参加者	入場・受付	新型コロナワクチンの接種歴または抗原検査結果の確認／手指消毒／体調確認／非接触体温計による体温測定
	競技	選手間が密にならないようアナウンス・サイン等／選手と来場者の距離1m以上確保
	パドック	選手間距離1m以上・チーム間距離1m以上確保／選手が座る席は固定／消毒液設置
	シンポジウム	館内収容人数50%以下（500名収容ホールに200名以下）／座席間距離1m確保
	式典	客席と登壇者の距離2m以上確保／座席間距離1m確保
来場者	入場・受付	入場登録（氏名・連絡先を事前web予約又は当日登録）／一般来場者数制限（同時入場 1,800人程度）／手指消毒／非接触体温計による体温測定
	観覧	原則、立ち見にならないよう観覧席から観戦／来場者間距離1m以上確保／メイン通路幅6m以上確保し、通路に来場者が滞留することがないように誘導
	サイドイベント	来場者間距離1m以上確保
運営者・ボランティア		新型コロナワクチンの接種歴または抗原検査結果の確認／手指消毒／体調確認／非接触体温計による体温測定
上記全員		マスク着用呼びかけ／新型コロナウイルス接触確認アプリのインストール・利用の呼びかけ
共通	会場	扉開放／空調設備による常時換気
	消毒・清掃	入口・会場内に消毒液設置／来場者が触れる場所の定期的な消毒
	救護	救護室設置（看護師を1名常駐）／体調不良者の常滑市民病院への搬送等

取材案内（PRキャラバン、フライングロボットの競技テスト）

PRキャラバン

県内の各種イベントでPRブースを出展。

日程	イベント名	会場
10月16日(土)、17日(日)	体験ひろば	こまきこども未来館 (小牧市)
10月22日(金)、23日(土)	SDGs AICHI EXPO 2021	Aichi Sky Expo (常滑市)
10月30日(土)、31日(日)	くらふとフェア蒲郡 2021	みなとオアシスがまごおり 及び竹島ふ頭地区一帯 (蒲郡市)
11月10日(水)～13日(土)	メッセナゴヤ2021	ポートメッセなごや (名古屋市)

未来のロボットの絵の募集

PRキャラバンのほか、郵送又はメールで未来のロボットの絵を募集し、集めた絵に動作を付け、RCAP会場の大型ビジョンに上映する。

- ▶ 応募期間：10月1日(金)～11月11日(木)
- ▶ LOVEあいちサポーターズ広報大使であるSKE48メンバーが描いた未来のロボットの絵を活用してPR

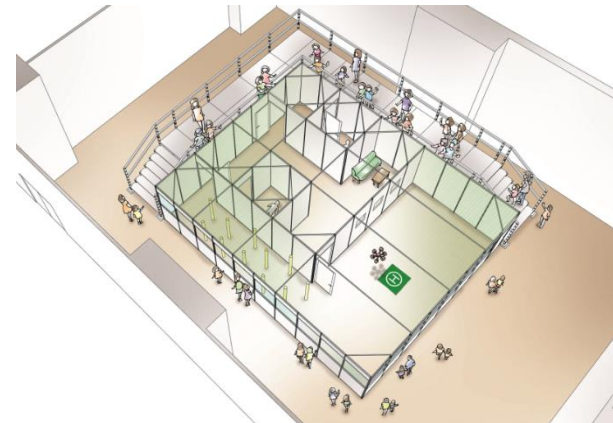


©ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会

フライングロボットの競技テスト ※一般見学不可

今回、初めてフライングロボット競技（屋内でのドローン競技）を行う。競技の運営方法等について事前検討するために、競技フィールドを設営し参加者による飛行も行う競技を試行。

- ▶ 開催日時
2021年10月30日（土）10：00～17：00【取材対応可】
2021年10月31日（日）10：00～14：00
- ▶ 場所：Aichi Sky Expo 会議室L1・M1
(ロボカップアジアパシフィック2021あいちと同会場)
- ▶ 参加予定チーム：6チーム
うち会場参加チーム2チーム リモート参加4チーム（うち海外2チーム）
- ▶ 競技イメージ
自律飛行をするドローンが、指定されたコースの飛行や障害物の通り抜け、要救助者の捜索などを行い、クリアしたタスクの点数を競う。遠隔参加者は、事前にドローンの飛行プログラムを提出し、そのプログラムで会場に準備した標準機を自律飛行させる。



■ 来場者からの問合せ先

- ▶ 運営委託先：(株) オン・アース
電話：052-211-3533
(土・日・祝日を除く 10:00～17:00)
Email：info@robo2021aichi.com

■ 事前入場登録、ワークショップ事前予約について

- ▶ 10月22日(金)以降、公式ウェブサイトにて登録・予約方法を案内。
<https://2021.robocupap.org/>
- ※入場登録は、当日受付での登録も可能だが、滞留を防ぎ、スムーズに入場いただくため、ウェブによる事前入場登録を推奨。
- ※ワークショップの事前申込は先着受付。
定員に空きがある場合は、当日会場にて参加申込受付。
- ※登録・予約方法について不明点は、「来場者からの問合せ先」まで。

■ 大会全般に関する問合せ先

- ▶ ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会事務局
愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課
ロボット国際大会推進室 企画・調整グループ
電話：052-954-6698
(土・日・祝日を除く 8:45～17:30)
FAX：052-954-6997
Email：robotconv@pref.aichi.lg.jp

■ 取材に関する問合せ先

- ▶ ロボカップアジアパシフィック2021あいち開催委員会事務局
愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課
ロボット国際大会推進室 事業グループ
電話：052-954-6374
(土・日・祝日を除く 8:45～17:30)
FAX：052-954-6997
Email：robotconv@pref.aichi.lg.jp